

産業建設常任委員会記録

平成26年3月18日

【開催日】 平成26年3月18日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前9時45分～午前9時50分

【出席委員】

委員長	松尾数則	副委員長	河崎平男
委員	大井淳一朗	委員	杉本保喜
委員	中島好人	委員	長谷川知司

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義		
----	------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

局長	古川博三	庶務調査係主任	角紀子
----	------	---------	-----

【審査事項】

- 1 陳情書 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める要請書について

午前9時45分 開会

松尾数則委員長 それでは協議会に引き続きまして、産業建設常任委員会を開催したいと思います。全会一致で意見書を出すことに決まりました。内容としては事務局長に読み上げてもらいます。

古川議会事務局長 我が国において労働者が安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができる環境を整備することが、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会の持続的な成長のために必要です。このくんだり

が県がつくったものと、また向こうが出してきたのと同じ内容です。次のそうした中、政府内に設置された経済財政諮問会議、産業競争力会議、規制改革会議では、「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入、「限定正社員」制度の普及や労働者派遣法の見直しなどといった議論がなされていると聞き及んでおります。本市は労働者の街として発展してきた経緯があります。労働者保護ルールの後退が懸念される議論については、慎重に取り扱うべきであります。あくまでも山陽小野田市は労働者の街なんだということを強調して皆さんよく考えてほしいと文書です。1として「解雇の金銭解決制度」、「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入、「限定正社員」制度の普及など労働規制の緩和に当たっては、雇用の安定に重点を置き、慎重な対応をすること。2低賃金や低処遇のままの派遣労働の拡大につながりかねない法改正ではなく、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うべきことと、きのうの一般会計予算でも臨時の処遇改善するようにとありましたので、それとリンクしていると思いますので、これは大井委員がベースをつくってくれました。これはまだ「てにをは」がおかしいところがございますので、それはちゃんとなおします。会派で大体このような文案でということで御了解いただけたらと思います。

松尾数則委員長 会派のほうで話し合っていて、この内容については25日の最終日に上程するので、それまでに会派で意見をまとめてください。

古川議会事務局長 ほとんどこのベースで行こうと思いますけれども、きょう、あしたのうちに会派のほうでよく話していただいて20日に確認程度のことになると思いますが、一遍集まっていてきちんと確認を取ったほうがいいですね。この大体の内容で会派には了解を取ってほしいと思います。ちゃんとしたものについては、「てにをは」を整理したら角のほうから皆さんにメールを送らせてます。

松尾数則委員長　これで産業建設常任委員会は終わります。次回の委員会は3月20日13時30分から開催します。

午前9時50分散会

平成26年3月18日

産業建設常任委員会委員長　松　尾　数　則